

ふるさと人

近畿地方在住の県出身者らでつくる「近畿おかやま会」の9代目会長を務める。会長職を駅伝の走者と重ね「与えられた任期の中で、いかに自分にできることをやるか。精いっぱい取り組み、後の人につなげたい」と話す。

昨年10月の就任から3カ月余り。「会員を増やすのが私のミッション（使命）」と常々口にする。ピーク時の1980年に1288人（法人を含む）だった会員数は4分の1程度に減っており「会を活性化させるには会員の増加が不可欠。特に若い人を増やしたい」。会員の交流

近畿おかやま会会長

こばやし ともよし
小林 知義さん(72)



活性化へ若い会員増を

会「元氣サロン」の魅力アップなど、妙案を求めて思案を続けている。

自身は2001年に入会した。「懐かしい古里の言葉で話すと、自然と心が通じ合う。打ち解け、楽しい時間を過ごせる」と会の魅力を語る。会長に就く昨年10月までの7年間は副会長を務めた。

美作市出身。建設用防水材料などを製造、販売する大日化成（大阪府門真市）の会長として社業も多忙だ。シンナーなどを用いず「水系」と呼ばれる環境配慮型の防水材料を主力商品にしており、東京五輪・パラリンピック（21年）の水泳会場「東京アクアティクスセンター」のプールにも採用された。「独創の技術が明日を拓く」を社是に、製造と技術開発の拠点となる岡山工場を勝央町に構えている。

十数年前からは友人に誘われ、大阪で第九の合唱団に参加する。「みんなで声を合わせるのが気持ちいい」。林野高、関西大卒。大阪府守口市で妻と暮らす。（黒住正義）